

漢詩 五師団関連

○37

慶祝凱帰 (H18/7/29 作)

(仄起式 押韻は五「微」である。)

二年半に渡るイラクでの人道復興支援任務を終えて部隊が無事に帰国しました。この間、一名の殉職者も出ることなく、サマワ県民はじめ世界各国から高い評価を得ました。色々と解決すべき問題はありませんが、取り敢えずは彼らの無事の帰国を素直に慶びたいものです。

灼熱焼膚砂叩衣
更加臼弾夜頻飛
敢為遂務礎大復
善果重任誇凱帰

○23

大慶帰還 (H16/6/7 作)

(仄起式 押韻は、□₄声「支」である。)

イラク派遣隊員が大任を果たし素晴らしい顔をして帰国しました。帯広での帰国歓迎会に参加して、彼等の勇姿に接してきました。

全任精兵千里馳
得信礎固莫相疑
知己駢寄歡強抱
須拳国人捧謝意

○20

赴援伊拉克(H16/2/9作)

(平起式 押韻は下平声一「先」である。)

イラク人道復興支援に第五師団の隊員も参加しております。危険あるを承知し自ら決意して参加した兵に敬意と感謝を捧げます。任務を完遂し、無事に帰還することを確信しつつも、祈らずには折れませ

干 戈 既 熄 認 炊 煙
雖 有 務 危 赴 敢 然
揮 汗 異 鄉 興 復 士
任 全 颯 爽 可 歸 還

○13

旅承師団(H15/10/29作)

(仄起式 押韻は、下平声十「丞」である。)

今年度最大の目標であった旅団演習が終わり、愈旅団化に向けた準備を開始します。新生五旅団が五師団の全てを継承してくれるであろうことを期待しつつ、その想いを詠みました。

蟠 踞 朔 東 師 似 鷹
隊 員 地 伏 驅 山 稜
寡 兵 敢 闖 果 任 務
伝 統 旅 団 將 継 承

○12

有終美(H15/9/28作)

(平起式 押韻は、平声一「東」である。)

師団最後の記念日における観閲式場での隊員の勇姿を永遠に残したく詠みました。意を尽くせないけれども。

熊師勇士立涼風
観閲式場驚嘆充
炯々眼光高意氣
誰論實力は無窮

○5

熊師団(H15/2/9作)

(平起式 押韻は、二「冬」である。)

先月行われた日米共同訓練における第5師団即ち熊師団の行動を詠みました。

朔東禦寇正交鋒
蟠踞窺虚軍命從
戰局挽回頻転闘
吐炎俊敏宛如龍